

「生産性向上」とは

～ S D G s ～

「持続可能な誰もが介護を受けることができる社会」を目指して

目次

- 1 SDGs とは
- 2 介護分野が目指すべきもの
- 3 「持続可能な誰もが介護を受けることができる社会」を目指して
- 4 目的を果たすための目標設定
- 5 生産性向上とは - 1
- 5 生産性向上とは - 2（例 1）
- 5 生産性向上とは - 3（例 2）
- 5 生産性向上とは - 4（人が一番大事）
- 5 生産性向上とは - 5（例 3）
- 6 まとめ

1 SDGsとは

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

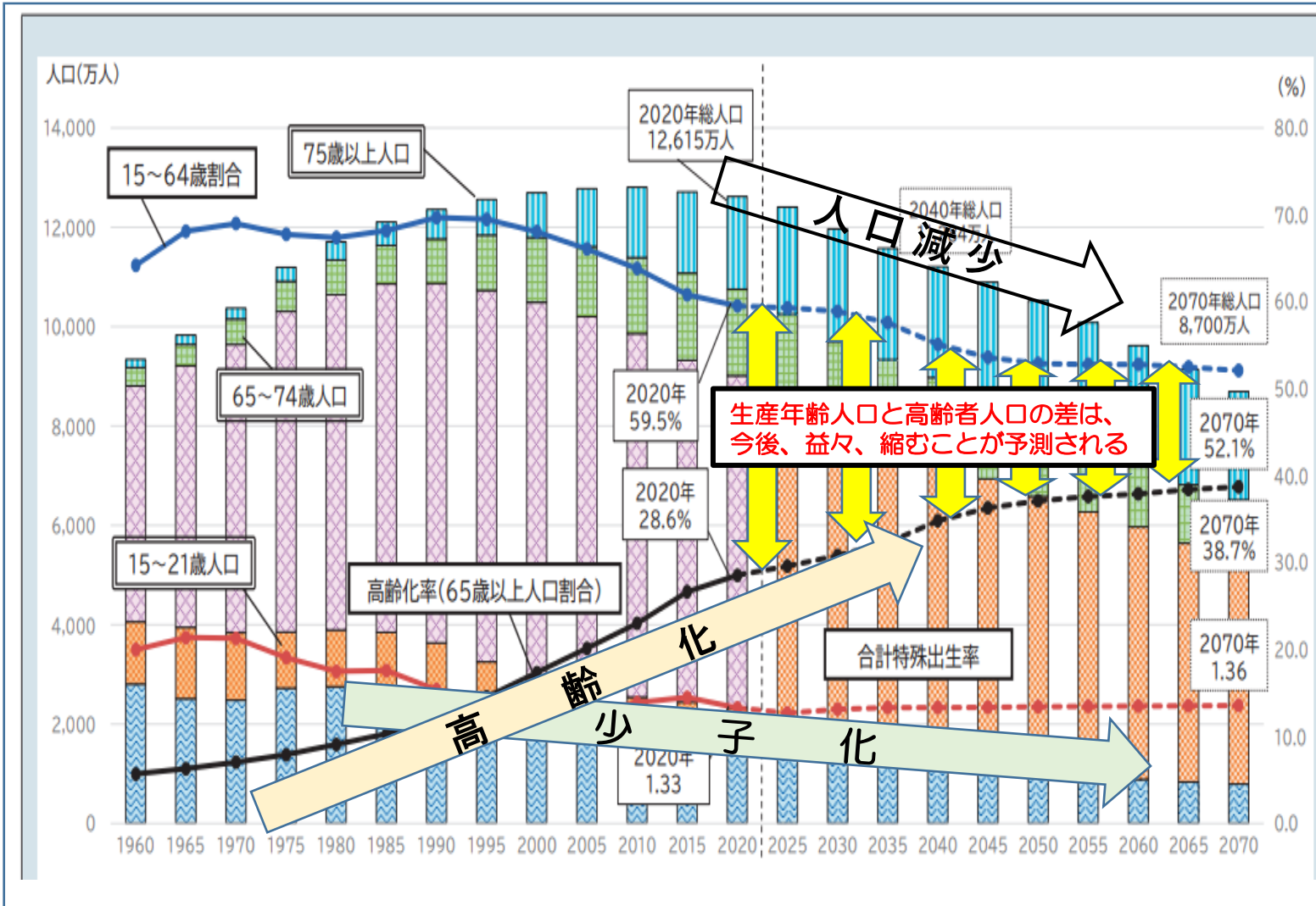


- 「人類がこの地球で暮らし続けるために、2030年までに達成すべき目標」

- 17のゴール
(長期的な目標)と
169のターゲット
(短期的な目標)

2 介護分野が目指すべきもの

日本の人口推移



SDGsにおける
目指すべき目標（ゴール）

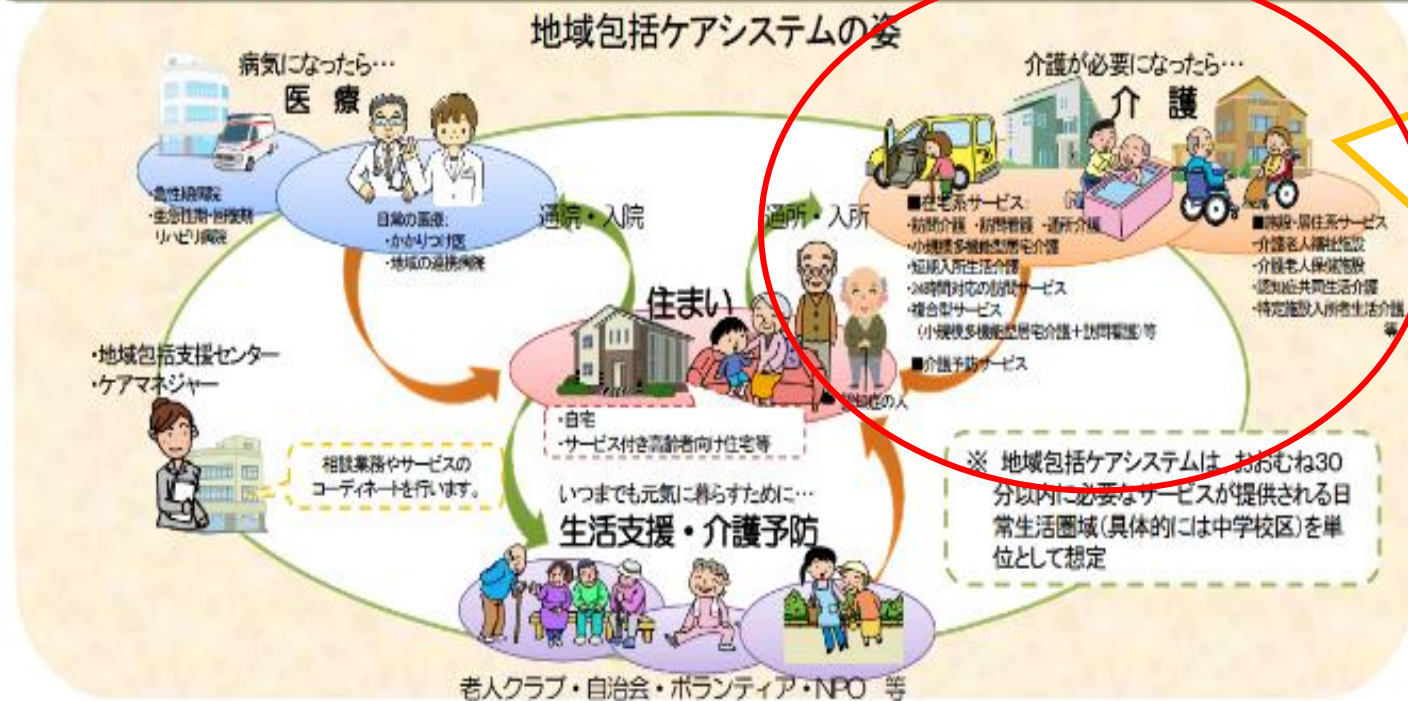


(出所：国際連合広報センター)
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

3 「持続可能な誰もが介護を受けることができる社会」を目指して

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**



介護が必要になったら・・・



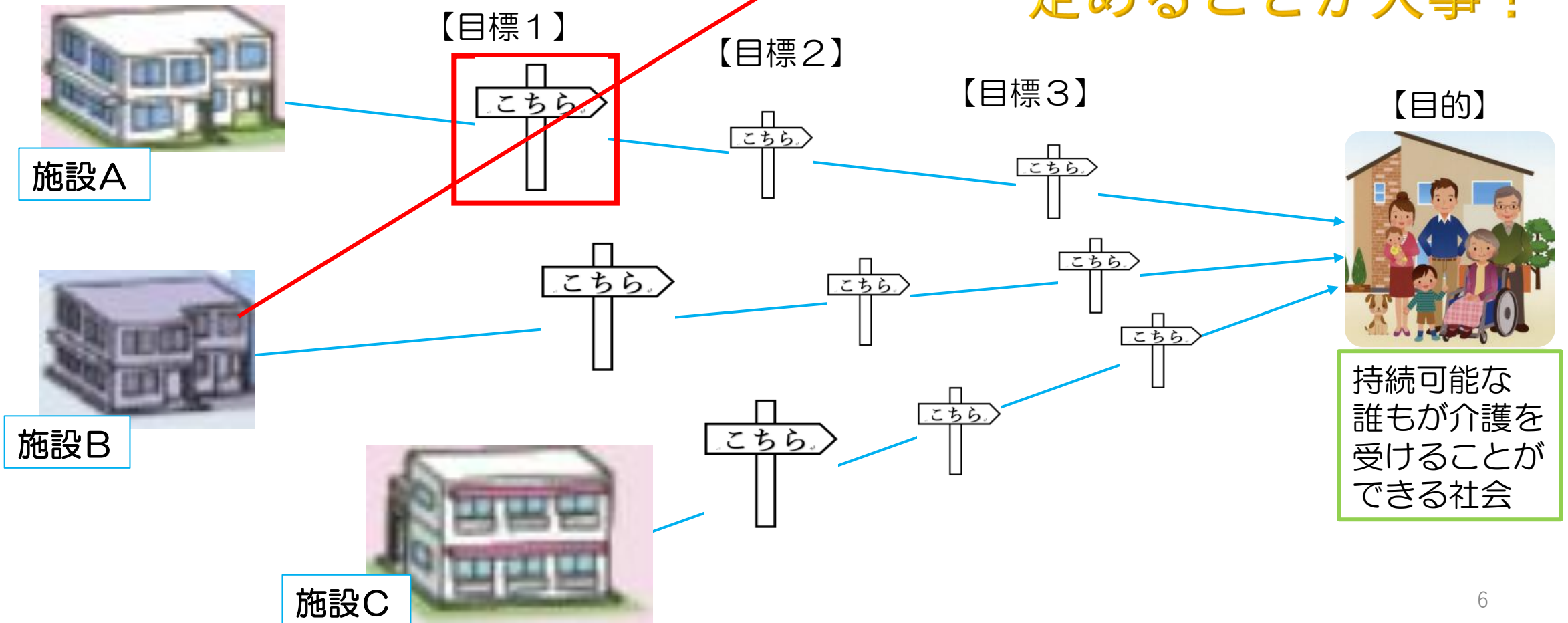
この部分を充実させることこそ
我々の役割！！

4 目的を果たすための目標設定

- 目的＝目指すべき**的**
- 目標＝**目的**に向かうための道**標**

的外れ

目標は、各々が
定めることが大事！



5 生産性向上とは - 1

- 厚生労働省の定義
「介護の価値を高めること」
- 介護の価値とは
「一人でも多くの利用者に質の高いケアを届ける」



(出所：厚生労働省ホームページ <https://isite.mhlw.go.jp/yamagata-roudoukyoku/seisanseinokouiyou.html>)

【参考】

○厚生労働省山形労働局

- 生産性とは、一言でいえば、「モノやサービスなどの価値をどれだけ少ない労力や資源の投入によって効率的に生み出しているかという指標」
- 「生産性」には、いくつかの種類がありますが、一般的には、「付加価値労働生産性」のことを指します。

(出所：厚生労働省ホームページ <https://isite.mhlw.go.jp/yamagata-roudoukyoku/seisanseinokouiyou.html>)

○公益財団法人日本生産性本部

- 生産するものの大きさや重さ、あるいは個数などといった物量を単位とする場合、「物的生産性」といいます。

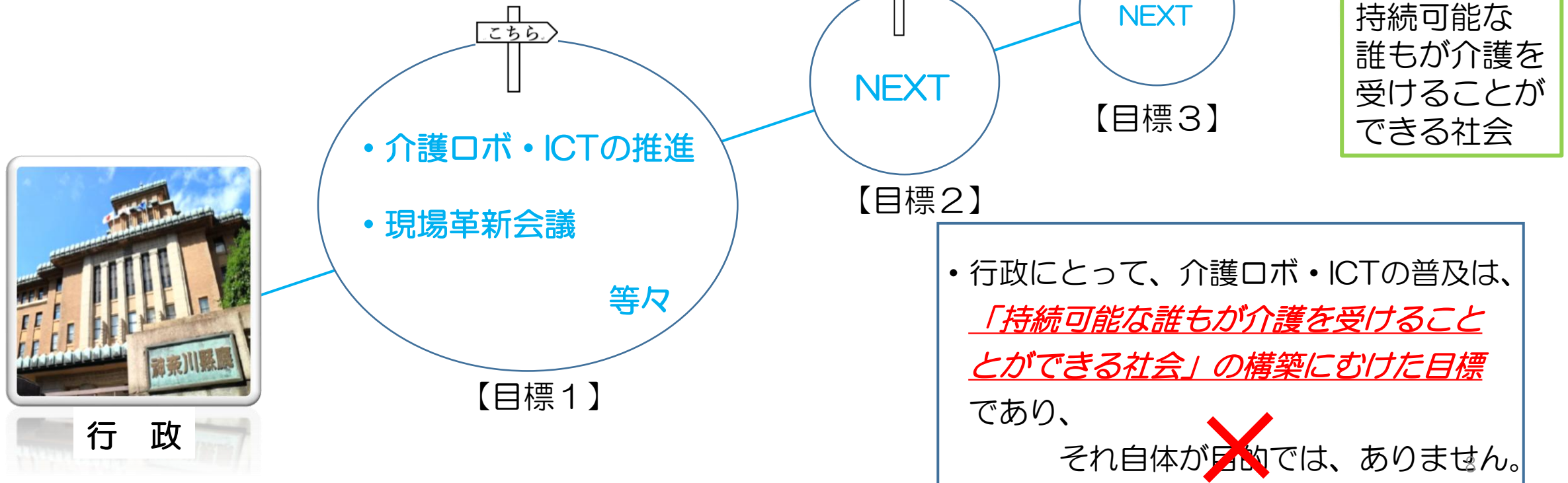
(出所：公益財団法人日本生産性本部 <https://www.jpc-net.jp/movement/productivity.html>)

◎ 生産性向上とは “持続可能な誰もが介護を受けることができる社会” を構築するための手段

5 生産性向上とは - 2 (例1 ~ 行政編)

「持続可能な誰もが介護を受けることができる社会」の実現を目指す！

- 行政は、皆さんと同じ目的のもと、
「介護ロボ・ICTの推進」等を目標としています。
→ 介護ロボ・ICTの導入によるメリットの理解
→ 職場環境の改善につながる



5 生産性向上とは - 3 (例2～ 福祉施設編)

「持続可能な誰もが介護を受けることができる社会」の実現を目指す！

- ・ 介護ロボ・ICTを導入する



- ・ 業務効率が上がる



- ・ 稼働率が上がった
→空床が減った（満床になった）！



- ・ 収益が増加



$$\left[\begin{array}{c} \text{稼働率} = \frac{\text{実利用者数}}{\text{定員数}} \end{array} \right]$$

○初期投資はあるものの、介護ロボ・ICTを導入することで、収益の増加が見込める

- ・ 特に、経営陣にはうれしいこと
- ・ 疲弊した介護士さんにとってもうれしいこと（負担軽減の観点から）

でも、肝心の“介護が必要な人”にとっては、どうなんだろう？

当事者目線！

5 生産性向上とは - 4 (**人が一番大事**)

【自動車産業では…】 (T 自動車の場合)

ニンベンあり！

「自動化＝オートメーション」＋「**人間**の知恵」＝「自働化」

- 「作業改善」こそが、自働化の原点。
- どんなに機械やロボット、ITが優れていても、それ以上の進化はできません。
進化のために 改善を続けられるのは、人間だけ。
- つまり、手作業を改善することを通じてモノづくりの原理原則を見つけ、現場で応用しながら改善を積み重ねていくことが「匠の技能」になります。

(出所:トヨタ自動車ホームページ <https://global.toyota/jp/company/vision-and-philosophy/production-system/>)

【介護業界では…】 (高齢者施設に当てはめると…)

〇ロボ・ICT導入にて、業務改善することを通じて、高齢者介護の原理原則を見つけ、現場で応用しながら改善を積み重ねていくことが「匠の技」になります。

5 生産性向上とは - 5 (例3～ 続・福祉施設編)

○ 介護ロボ・ICTを導入する前に検討すべきこと

【目的】 持続可能な誰もが介護を受けることができる社会の構築

【問題の抽出】

- ・ 待機者がいるのに空床がある
- ・ 慢性的人材不足
- ・ 不適切ケア・虐待の疑い

→

【課題設定】

- 医療的ケアが不十分
- 業務にゆとりがない
- ストレスフルな職場

等々



○ 介護ロボ・ICTを活用することで...

【目標設定】

- ・ 看護師の負担軽減(医療的ケアの充実) → 医療的ケアの必要な待機者の入所
- ・ 業務改善(ゆとりのある介護の実現) → 離職率の低下、慢性的人材不足の解消
- ・ 業務改善(職員のストレスの減少) → 不適切ケア等の消失

【課題・問題の解決】

6 まとめ（「生産性向上」とは）

【厚生労働省の定義】

「介護の価値を高めること」

「介護の価値とは一人でも多くの利用者に質の高いケアを届けること」

（出所：厚生労働省ホームページ <https://jsite.mhlw.go.jp/yamagata-roudoukyoku/seisanseinokouijyou.html>）

第1回現場革新会議では・・・

「生産性向上」とは手段である！



「持続可能な誰もが介護を受けることができる社会」を構築するための手段

